

2021年4月5日配信

報道関係者各位

宗像サニックスブルース ラグビートップリーグ試合情報 (4/3 NTTコミュニケーションズ戦 結果)

株式会社サニックス（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 宗政寛）が有するラグビーチーム「宗像サニックスブルース」の、4月3日（土）、ジャパンラグビートップリーグ 2021 第6節 NTTコミュニケーションズシャイニングアークス戦の、試合結果、チーム広報コラムを、下記の通りお知らせします。

宗像サニックスブルース vs NTTコミュニケーションズ 21:40(前半 0:28)

チーム広報コラム（322）

「ゲームチェンジャーと大きく叩く～トップリーグ第6節～」

4月3日、坂本龍馬が生まれた高知県で行われたブルースのNTTコミュニケーションズ戦（トップリーグ第6節）は、21対40というスコアで完敗。スコアだけを見ると、ダブルスコアに近い完敗ではあっても、その内容を見ると、少しだけ流れが変わってれば、勝つことができたはずの試合。とくに、久しぶりに、後半から投入されたカーン・ヘスケス選手のゲームチェンジャーぶりは相変わらず圧倒的で、チームの雰囲気も選手たちの表情も前半とはまったく違うものになりました。もちろん、プロスポーツであれば、勝つことがすべて。そこにいかなる言い訳も通用しません。今回の試合でも、後半のラインアウトなど、チームとしての反省点はいろいろあるでしょう。ただ、同時に、変幻自在なヘスケス選手のパフォーマンスを見て、そうそう、こういうブルースが見たかったと思われたサポーターも少なくなかったのではないのでしょうか。ブルース、次の試合、トップリーグ最終節は、4月11日、北九州のミクスタで、東芝と戦います。「小さく叩けば 小さく鳴り、大きく叩けば 大きく鳴る」。かつて、坂本龍馬は、西郷隆盛を評して、そう語ったと伝えられています。欠けたところがいろいろあったとしても、他のチームにはない、ブルースのスタイルと魅力で、残り1試合、相手を思い切り、圧倒してほしいと思います。小さく叩くのではなく、大きく叩く……。そうすれば、きっと先が見えてくるはずです。 #StrongerTogether

チーム広報 野口 真弓



カーン・ヘスケス選手コメント

「久しぶりに、試合に復帰できて、うれしいです。試合は負けましたが、80分間戦い抜いたチームが私の誇りです。同様に、今日の試合、皆さんが望んでいるサニックスらしい試合ができたんじゃないかと思っています。サポーターの皆さんに楽しんでもらえたらうれしいし、来週もまた応援してもらえたらと思います」

試合経過、その他のコメントは、以下をご覧ください。

<https://rugby.sanix.jp/kite/275d059e66ec91860ff19d49d74b7925.html>

◎本件に対するお問い合わせ先◎

株式会社サニックス秘書室 田中・山下 Tel: 092-436-8882
宗像サニックスブルースFC事務局 E-mail: rugby-fc@sanix.jp